

**大分市脱炭素先行地域の応募に関する
サウンディング型市場調査
実施結果概要**

大分市

1 調査の趣旨

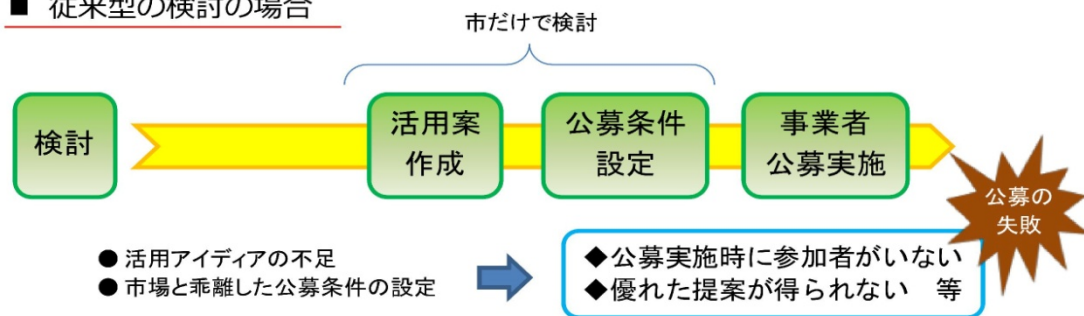
大分市は、令和3年4月に「2050年ゼロカーボンシティ」を表明し、市民・事業者の皆様と連携・協力し、持続可能な脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいるところです。その中で、環境省の実施する補助事業の脱炭素社会の実現と市民の暮らしの質の向上を目指す「脱炭素先行地域」に選定されるよう準備を進めています。脱炭素先行地域への提案は、地域課題の洗い出しや、民間事業者等との共同提案が必要です。

こうしたことから、民間事業者の皆様との「対話」を通し、脱炭素先行地域への申請に向けた、地域課題の洗い出しと、申請に向けた事業手法の検討のためサウンディング型市場調査を実施しました。

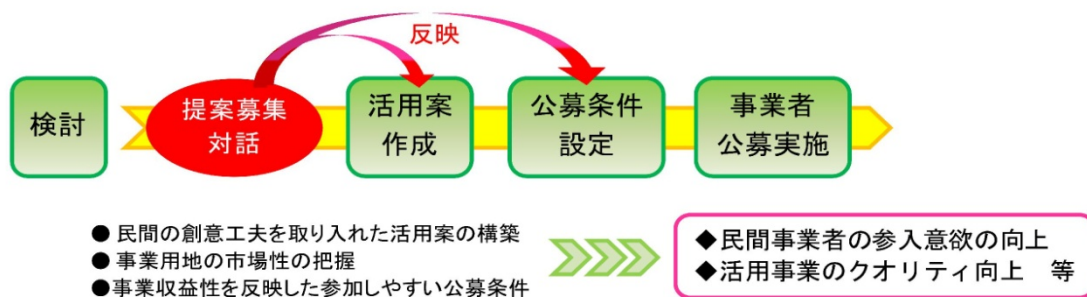
2 サウンディング型市場調査とは

サウンディング型市場調査とは、検討段階で民間事業者の皆様との「対話」を通していただいた意見または提案を、事業者の皆様が参入しやすい公募条件等に反映するための調査です。

■ 従来型の検討の場合



■ サウンディング型市場調査の場合



3 サウンディング型市場調査の実施方法

<対象者>

◆本事業へ参画する意思を有する法人、または法人のグループ

<実施方法等>

◆対話時間は1グループ1時間以内

◆ヒアリング調査（個別対話）

◆対話はアイデア及びノウハウ保護のため個別に非公開で実施

◆参加事業者の名称は非公開

◆対話に要する費用は事業者負担

◆対話の参加実績は公募時に優位性を持たない。

◆対話参加への対価、結果に対する報酬等の提供はない。

◆アイデア及びノウハウ保護に配慮した上で概要を公表

<調査項目>

- ① 地域課題の洗い出し
- ② 対象地域の選定
- ③ 実施体制・ステークホルダーの検討
- ④ 地域課題を解決する取組の検討
- ⑤ 資金調達の検討

4 脱炭素先行地域の概要

2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO₂排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかの温室効果ガス排出削減についても、我が国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域で、「実行の脱炭素ドミノ」のモデルとなります。

5 サウンディング型市場調査による結果概要

○応募参加者：11グループ（15社）（建設業、コンサルティング業、金融業、電気小売業等）

○申請に向けて出された主な意見等

- ・脱炭素先行地域への応募時期は、可能な限り早い方が良いと考えられる。
- ・まだ選定例が無い重点選定モデルへの取組は評価を得やすいと考えられる。
- ・共同提案者として事業に参画したい。
- ・自社の商材は、脱炭素に効果を発揮するもので、脱炭素先行地域の計画の役に立てる。
- ・事業規模が大きいので、同じ事業に複数の事業者が関与できる仕組みがあると良い。
- ・脱炭素先行地域は地域経済への裨益^{ひえき}も重視しており、金融業としても後押ししたい。

※今後、計画提案書作成や公募条件設定等に向け、今回の調査結果だけでなく、あらゆる角度から調査、検討を行ってまいります。

6 お問い合わせ先

大分市環境部環境対策課

環境保全担当班 担当：指原、繁

住所：〒870-8504 大分市荷揚町2番31号

電話：097-537-5758（直通）

FAX：097-538-3302

電子メール：kankyotai5@city.oita.oita.jp